

一宮町長  
馬淵 昌也

2020年東京オリンピックを迎えるにおいては、会場やアクセスの整備など「ハード」に関わる課題が多々ありますが、一方では多くの「ソフト」関連の課題もあります。その中で、ぜひ町の皆さんにご協力いただきたい事柄を、未熟なアイデアですが、思いつくままにいくつか記します。

まず、日本中・世界中からおいでになる方々に、「おもてなし」を差し上げるために、ぜひとも皆さんのお力がが必要です。レセプションなどの行事も企画する必要が出てくると思います。そこでは、日本・そして一宮の文化の多様性を示すために、伝統的な芸能などを修練しておられる皆さんのお力を借りなくてはなりません。選手の方たちに提供する食事の食材などにも、細心の注意が要求されるようですが、地域の特産をぜひともご賞味いただきたいと考えます。

当然、外国語での来訪者への対応も必要になってきます。10月の宮原区での集会でもご意見をいただきましたが、町でも住民や、中・高生の方々の外国語能力を伸ばすお手伝いの手立て

を考え、皆さんにその成果を発揮していただきたいと思えます。必要に応じて、ホームステイの受け入れもお願いするかもしれません。

観光のための様々なルートやプランの設定も重要です。この作業は、一宮町を中心として、周辺自治体とも連携して設定してゆくことが望まれます。オリンピックの恩沢を広く一宮から長生・夷隅地域、更には房総半島全域に広げてゆく努力を精いっぱいしてゆかなければなりません。

過去の例を見てみると、オリンピック時をピークとして、終了後は景気が一気に冷え込むことが多かったようです。私は、様々な先例を学びながら、そのようにならない手だてを考え、オリンピック終了後も、盛り上がった気運や景気がそのまま続いていくような戦略を組んでゆきたいと考えます。

皆さんにご協力いただきたいことは、これ以外にもたくさんあると思えます。プログラミングの段階から、町の皆さんにご参加いただきたいと思っております。ぜひとも皆さんのお力をお貸しくください。